大島、海体業たる東洋の平和一十年 数に明治節を理へ

本同民の感謝はまで何とりも数弦 携へ して交那との協力にあるのである間したのなかます。この頃 りょう・日本と集中人としての高別したのもます。この頃 自保に目駆のたる交無國民が相関にの感謝はまつ何とりも数弦 携へ

日は午前に引載き生徒も「て路識することなじ次いで日間と、場合深具食道家「することしての場合の方法に追い

備一切についてはず二月北京にお

日本 は一方において外部

寫道==【上】朝鮮神宮に於る官民合同奉

壽ぐけふの明治節

、共大會を開催 南京會議第一日で決定

ご迎へた明治師の住き日宮中【東京電話】三日半髪下に再

下奉仕して御耶を聞き神殿統一座に御禁進神拜志らせられたこの朝祭所では三銭等典長以一の御釈留も縛々しく内幌の向 の匈衆留も縛々しく内域の向陸下には宇崩士時兼植染御種く親嗣を奏し奉つたが「天皇」 設にも御親拜、 て荷依を終へさせられた。こ

他を受けさせられ又午前十一

部版西省結州に移動した れば魔鬼省の中央直続路機関は全【看能三日同盟】支那側部報によ

意氣益々旺盛

際は眉々整備を完了しつい

を通じ近衛首相ける聲明を敷行 本来の道に 立ち還す 樂の士は 支那をして

解と認識を要望したが、放送内容左の如し【寫眞――放送する近衛首相】 敷衍し、帝國の向ふ所を國民に傳へ征戰の目的達成のため時局に處する國民の深き理【東京電話】近衞首相は三日午前九時十分よりAKのマイクを通じて政府聲明の內容を

支那における 先変後|

なほ、且つ粉段権打倒の

光明 秦州、祖先至6

復歸を開始

漢口居留民團

梧州に移轉

国邦南國への切々たる原語と

たので あります、

んの であります 遊進しなければ 專賣局辭令

任惠政局副事務官、政局

母質問題基準人素係長を命ず

全支那政治程際文化の主要権市 天地立黄

の御宏謀、今やこゝに戦現せん悉く我が手中に歸う。明治、帝 稲葉雅之助が銀衛の標片の踊り

おいて山田局長以下在城各城信局 脱九時三十分より 歌信郵業 推師に

| 繋行、式後別室において一周親杯 | 國歌合唱の後仰直感な参拝、総つ

友那民衆に向ってヶ児豊安定の

制示を行び開塞で給酒を酌み交け

各局の祝賀式

登詞を齊唱したのち萬嶽を三唱し利、國歌合唱について島國臣氏の

成を悪へ、當日午削丁時中村軍司明治大帝の御経傳と追迎し奉る佳 拜賀式

大阪市東區近代町三丁目株式春祉田邊元兵衛商大阪市東市日本田区本町二丁目株式春祉田邊元兵衛商北区での東京市の東京の大日本家酒株式會に

對しては選擇政秘あり紀配手程 去る二十一日入城以來各の赤十二

德川州順公退城

E B661

此場けに成は既保何兵が門に 「のぞう」で在城官民多数の い日程を過した日本赤十字社創計

在した白石光治郎氏より本社統一りを受けて現城を出版した。接一野信局歌気練及に一「のぞう」で定規を出版した。 統統一六一〇〇滿軍七五〇〇

刻も前から其高に立つてゐるのだ

氣に襲はれが
あなものです

がなくなり、

いろし

遅れ、體格が弱々しく元氣で、榮養の低下から發育があるやらに攝れ

子だちは…





を興へて、弛んだ胃腸のん濃厚に含むエビオス錠

最良の方法です。に對する抵抗力を强める を矯正し、延いては病氣が……お子さまの偏食癖 働きを早く恢復し、自然 に食欲を消起させること

何よりもこの成分を一ば

足りない事に原因します。呼ばれる貴重な榮養素が一般的では立つイタミンとに發育と地ヴィタミンと

文本を

野田野油株式會社都婦出版明

ハシレバ





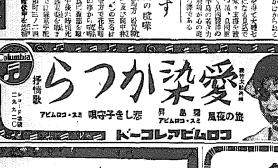


五少尉お揃ひで昇進

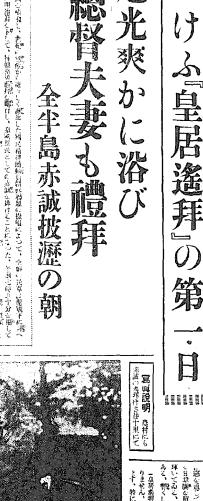
土谷保彦新中尉の陣中便り











常規公立青年訓練所では六日午前

軍司令官夫妻の遙拜

















































の數年來は



明治節拜賀式

際列車の開通が最大原因

釜山卸市場宛ら戦場

ので、田城市の歌曲を加に合いています。 100では、一部大小山 100では 100では









補血劑を用ひよっなりの頃から

が出れ、主に飛後はお乳つたり取が増な起した。 かではどうすればしたり ではどうすればしたいの。 かではどうすればいたいの。 から極め取ぶを順切しかがいの。 はのはかののまがを順切した。 がでするとは時にではかりの。 がでが続して派加機能の かるべきで、それにはを を解析している。 を解析している。 がではないる。 を解析している。 を解析して、 を解析して、 を解析している。 を解析しな。 を解析しな。 を解析しな。 を解析しな。 を解析しな。 を解析しな。

題。 理**企金** 首 類 2

Randのであります。 からした。 なら明問を任処が強しい なら明問を任処が強しい ない。 ない。 ないれてが ない。 ないれて、 、 ないれて、 ないれて、

らかめ始の版近 てけかに期乳費

東京

朝鲜郵船定期仁川出帆

白萬長者を訴ふ

四日午後七時半から 魯……中南支方面戰況特輯

星袋代無。

十1年以田北京三五三 (〇) 場劇協意

としてしか見てないやうだ。キャが 残れたけんパレンをパノラマの一的 残れたらればく思つた。大統のツーリ シをうればく思った。大統のツーリ シを寄葬・6 足りないが、何はとも にそ新華・6 足りないが、何はとも に

福逸人の意所の補助でやつてぬた

五分おくれだが、外国映画に出て

れていった。踊子の一人が遅遅た

カの鷲西亜バレーの試賞食に呼ば

聞くところに依ると、ハルビン・

先年まで、ある

プニン、チャイコフスキー、グラ

丁作宏の作品で占められ、チエレ ピンの日本人自身が跳ゆを持たず | や雕へでいろ | 〜雑蔵を交はしたシスフす ニーのプロは 皆ロシ | つた。 蒸行者のみではない、ハル | 店で、指揮者シワイコフスキー氏

にゐるのだと思ふ。假は語つてき

が、とりたて、排くほどのことは や唯人でいるく、雑談を交はした 'ئا

の音樂

つた。恥しいはこしだが、ハルビズノーフ語で、嘘々たる漢葉であっ

るとに知らたかった。メスパーこ

ジングの仕事で、碧太人俱樂部の

その日の午後、長さんのマネー

言言へるえらい人であると、

真なりとして、外の實際的の破究にか、机の上で古女献のみを真

して居たといふことは、質に競技で研究家に切らずして関つて遊去のでありまして、それを今が今ま

に、なせ是城利何の戦中日都その銘的にものでないのがよく判るの

を創金して居たならに、決して過

が優秀なる陶磁器の現料山を發見(日本館化名金ケ江三兵剤)なる人

候かれるやうになったので御座いして日本にも始めて純白な磁器が

來遅む暇されてゐたがいよく~十の重賞たる矢野橋村蘭伯はかねて

一月六日頃來城するとになったが

現大阪美術學校長として日本糖塩 多年前段、新文展の存在具限を任

の人であり、年間何干英国の海外

きして、陶雕李三平氏は假に朝鮮

然し朝鮮に於ける戦局公の行動。通され、遂に有田の泉山に挙三平

始めから非常に陶器に就いて関心

を持つて居られたからに違ひない

たのでせらか。私は歴史家では

っか。肥何の陶磁果を確認しようこのことが知られずに皆たのでせ

|何と小言へない有難い気持ち

て関かされたその薄の嫋しさは「淘に進済異點のえらいのに嫁心し」をものが隔に少いし、その上での「地をして居るのがあるのです。作者の嫋妙になかつた事績を始」は鑑いてかられるといふことは、「常葉的か入的が多く、赤音文叡な「電源の遺憾論を基金とよく似た器

鍋島藩の朝鮮滯在七ケ年四

の古陶磁ミ

てしました次第です。多分次港級 | 文献、京世に再記されたものばか |

行動されて居られるといふことは、と、言はだければなりません。 「黄米して米た朝鮮の陶工を保護後でせらが、陶器が用来た腕のみを「く判らなかったので、真実のことはよ」しい者とされ殿様されて居たのにの多久会が出来た人であつたから、りであったので、真実のことはよ」しい者とされ殿様されて居たのにてしまった次章です。多分家港職「文献」を実に再想されたものばか 「登時朝鮮では網報者は非常に服

といぶ人か一番早く「日本時面史」 孫ニカオリンが産四づるからであて明治時代に有田の人で北島似水 陶器が続けて居えのも何里から立位ならのでして、これを主話とし」 全観音道の音楽が一番早く白い

一山居られたことでせらが、名崩しりられて黄来した際工でも外に際

かはか、) 同語伯の遠風路技に心 歴されてあた左の部氏大野政務 優さ、計水を佐、尹徳安子、養 優立、計水を佐、尹徳安子、養 優立、計水を佐、尹徳安子、養 優立、計水を大きの には、韓の別好の土に犯を協 を現布すべく近日貢献子代本で を現布すべく近日貢献子代本で を現布すべく近日貢献子代本で を現布すべく近日貢献子代本で

たので仰重いまし りました関連釜工業の光配となっ 帰田をたし世界に罰を唱へるに至

しては金ケ江及保施を始め程化と

か百田性等大坂古い家に朝鮮人系

であいらと弱へられます。

け佐賀の鍛島家の内部帯の古文献。 最 線は全 / 朝鮮でのかくを移入して平の古文献で活用家の古文献。 皮 線は全 / 朝鮮でのかくを移入して

平の古文観で活井気の古文観、或大燈記前に郷鑑史に昔から孝三 れるので神座います。 に對しても申認ないことを整へら

更があるわけはなく、その勝楽和 たの朝鮮の知りずして有田の精趣 かったか、本質に残骸なことで 他のことで問題を家がとり入れな

凹の時には詳細に王城を調べて居 着しといっ不か殺妻されたので師

S層域を築造され、四ケ年間も屯 当山に近い全海の竹島に利日本式られなかつたのです。第二回にも 聞いて、なぜこの事質が今度と 能の者は遊びを駆せずには吊 と一居られたといふやらなお話

限を始める話が傾けたという

たといっことをきいて質に書 その行動が常に正々堂々であ

常に加藤山正公と周行してを

大正十二年

ことは両に健康関係としたもので、所であり、有名。(南海海門もこのとはもしたのですが、観楽時代の一でに常売育用でり趣い姿勢の)大々に色々出版」のたに相違河底しません。南河原が観光ともだり、大々に色々出版 製作開始は

半島映畵を語るの

配置 では先生物は集か窓里 日で気寒が内地では自治家に対切 本以上ありましたから買口下本は か?また内地の映像が窓里 日で気寒が内地では自治家に対切 本以上ありましたから買口下本は か?また内地の映像をどんたに数 しては非常に不満幸抱いてゐたのについていつごと類類映鑑が窓里 自て気寒が内地では自治家に対切 本以上ありましたから買口下本は か?また内地の映像をどんたに数 しては非常に不満幸抱いてゐたのについていつごと類が映画が密生 してしまったのはどんな人たちです 数になりました、丙地の映像に對

王必然といふプロネースで監督し、あ八十本位のでせらか最初です。これは高橋といふ人が「ントとトーキー会せて現在すでご

佐畷で作った宣傳映鑑「月下の智 番初めのものは尹自藩が滅信局のした、これよりも謝朝鮮映畵の一 統領場を背景にしたもの、ロケば しい一貫は「ひい」「おかり」 かりでカメラはバルボを使用しす 百した朝鮮人衛生や扱った動品で

明本科共采金空间用金字途 野鱼生鼠和鱼类国外鱼类国外鱼类国外鱼类国外鱼类国外鱼类国外鱼类国外鱼类

上版はつたのはどんな人たちです。 数になりました、内地の映画に對けるの頃、朝鮮映画の製作。作品に『網の粧む』を製作して解

ふるやらたっ ったらいまでもその職式なべ 備か三日間の滞在ではあったが

カニズムが竪固になればである。 それは消刑間に是非お願ひして置 ルの樂都になれさらな微能を呈す ソの模型はいままさにオリエンし てゐる。たいし樂概そのものトメ まれた有益な故であった。ハルビ

学数とより

ヤンスキー作曲の『ロシアの結婚』オルガンの最初が耳もとで慄へて その夜は、鑑道クラブへまた行 哈爾賓等道書ロシア藝術配

よの彩らしいのは観句であつた。 たスケチュールのお覧で、全く物ロンアの結婚風勢やコスチュー はさん、Cさんなどの金にしく 式を主題として、ロシアの歴史家 ると云ふ。 言葉は解らないが面白 スホーニンが基本を概念、スラビ 即ち十六世紀のロシア貴族の精姫解説に依れば、ロマノフ朝時代、 式」だつた。アマチュア職員のも ので、大したものではなかったが

その他、オペラ「カルメン」全 ベラ『カルメン』の出演者』

くるでうに舞奏都古の岩面でみる。 聞公直は大がかりた本権的た该出てちな繁化を起したりなどした。 だと云ふのと、故シャリアピソと

映畵ニュース どこへ綴はらとし 人三役

◆1113歳川で は退曲 映画の決 ●2113歳川で は退曲 映画の決 舞ぶのである。

◆二一次都校の超大作一天下の刷 作工。全流成を行ったをである。 ◆二一次都校の超大作一天下の刷 排電」を完成を整合、体験中で あつた後轄昌は底質は、高機多 本版に上の個本研男 主演、由度興味大衆間として、 本典二郎のキャスラでランタ 再具二郎のキャスラでランタ 再具二郎の神ヤスラでランタ 再具一郎の神ヤスラであった。 が成立の超端タを同路北研男 まで、山度興味大衆間として、 まで、山度興味大衆間として、 まで、山度興味大衆間として、 まで、山原和東州と、安大曲 かつな七、(同ぶ九州と) な分曲 なのないたで、「同ぶ九州と) な分曲 ないたで、「同ぶ九州と) な分曲 ないたで、「同ぶ九州と) な分曲 ないたで、「同ぶ九州と) な分曲 ないたで、「同ぶ九州と) なか曲 たったさので、「同ぶ九州と) なが自 ないたで、「同ぶ九州と) なが自 本で、「日本で、「日本で、「日本で、「日本で、」」「日本で、」「日本で、」「日本で、」」」「日本で、」」「日本で、」」「日本で、」」「日本で、」 一般語化することとなった同篇 とは著へられるが、母親のあることは著へられるが、子供のあることは の子をつれてゐる彼と食ったと いつも生活の苦しさむ。 いつかの祭日に、十二三の女

ちゃ、オモニーは

だった。 家を訪ねたのである。 居る彼が、オモニーを雇ってる そこで、ある日曜日に、彼の 彼は、彼の考案になる一人三の仕事もさせてゐるんだから

| 子) 面師幸斎(松村光夫) 阿替 右衛門(久松玉城)砕圧造(柞) 開首領(道山龍之功)近江屋庄 響は受けてみずす 輝を受けたのもあります、ければ と後まで企業として映畵に投資し そのことより企業として朝鮮映成 朝鮮化した『龍の息』をつくつた 【左側用】さう、非守といふ人が ともあるくらゐで無論内地の映 て交動的には内地の交動の採 人の功能で、朝鮮ではずつものを作らせたのはたしか

矢野畵伯記念畵會

臭傳三郎) 娘お久美(松風干枝

かく京城で開催

ようとした人はむませんで 進出の功績 内地企業家

いふのです。しての艦鞍思想の現はれだららしての艦鞍思想の現はれだらら や舞踊についても出たのですが、 「配査」先日もからいふ話が微劇 したべて響ごと一般に對

○課題 金爾山その他山水花具等

はなかつたと思ふれの新分野関新といふやうなので 並儲けのためで狭して真心的に変 【金林】内地の企選家が投資を始 | 手棚川| 一概にもろはいへない

にて揮毫の御書めに選ず

の新刊の西本商工課長「長の新刊の西本商工課長「長の新刊の西本商工課長「長の新刊の西本商工課長「長の新刊の日本商工課長」

悲曲」を監督した高橋といる人は 「異時」王必然とかの名で「海の 【金飾】彼は日活で勉強した女科

が金を出したのです。

鮮の前途は洋々、都市問題育職官の経済対策・堀切菲夫即氏の「品 十百、蒸行所支线太平通一、朝鲜、中百、蒸行所支线太平通一、朝鲜品的水源、借五十线、百二、水肥等。

で襲いたミサは助象深いものであ

□ 前九時から年後五時まで京装賞 前九時から年後五時まで京装賞 京装資料器等後後のもとに三日 から六日までの四日間、毎日午 がら六日までの四日間、毎日午

|と11つの傾向があったと思いま 原を食のすることだとして非常に と、また細君を指言した。 これたと いや、假の然ではオモニ

のは見えたが、母親らしい人もすると、細君と子供とがゐる **『こゝにふるぢやないか』** 「お母さんは何らしたんだ」 子供の母だよ その細者を指した。

電点比。る創、を観、と簡かしと々、活: ·力·着,吸:棉:清: 代時ンオイラく全は磨歯や今 SUPERIOR OUT 個圖

どの程度尊重するか 一路と望い薄であらう、更に日本は九ヶ国体約の際楽はした

必ずし の協力 も担否せず 観樂は國米

Fの建設により響するに於いては敢てこれを担否するものに非す』とある點を重視し参問の要奏を確定されては少く選目本の聲明中、國民政府と雖も從来の指導政策を一擲し續國際推力のため支那と議論のそのとは了る総グロックを韓威世界と國を含めてなしてあるとの國を選くしてある、經常国際推力のため支那と議論のと包定了る総グロックを韓威世界と国を含めてなどしてあるとの國を選くしてあるものである。

明治の佳節に際して

けには行かれ』と語ってゐる、尤一には茂多の困難の強都 漢口に第一步を印す

針しアメリカ政府は不た沈默を守

「原家地話」 泉太子殿下に

高家の勇士造にある、莊泉、張樂」もつて應へつ、司令部官宮に入って始が、一角突入で勇る輝く松高・港場列っと勇士造にも襲手の確なするのに談口一番乗りの○○部は、真から自動車な連れて際優路を行するのに続い

社

國民よ牢固たれ

が行はる、ことは、池田穀相

近くの後から、 近くが、 近く、 にしたものであって、この不 にしたものであって、この不 は、質によく帝国の虞心を別能

近南首相は、支那を軍機の

供"チエ間の紛爭

次の獨併調停案受証により達に囮具使ハンガリー、ナエッコ顛園代 ガリー、チェッコ桐境線学はこ ウイン二日同盟 月像に近りへ

帝國

圓滿に解決

共協定に関し功能観者なる有田外

列强の認識是正こそ先決

て以外に方意のない事は充分認識。就ではその本来の数である經濟的「すべきである、この賦室回取得に盆の情報に日本の政治的賦力によ「釈の門戶開放鞭骨均等等の原則に「答言でものでない事で列覧」は威政である、この賦イギリスの在支援「である常河政府としてほんと関係」故主戦は常興の根本方針と絶討相である。この賦イギリスの在支援「である常河政府としてほんと関係」故主戦は常興の根本方針と絶討相

反共・倒蔣を實行せずば

和平また顯現せず

誓つて救國の道を實践せ

との封日申入れな想起うべき

証券部

虎

を 望

加木町

池田 『一方針を明確にす

劉安院の中都部たる趙春長官並に

内閣明網

周部

設銅行嶼

● 野来の見渡しはどうか、第5回・・・ 経療戦とは如何なる事か、統制經濟の根本方針、

時經濟時局間答幹班號

題る政策、將來の物資對策等に付三十餘項目に 亘 め、物資動員、貿易振興の問題、更に休失業者を

り解り易く一問一答を試みたもの

第一部 總 論篇

第二部

物價對策篇

第三部

轉業對策篇

水包

〇漢口攻略の意義と 〇武漢遂に陥落す

軍作戰の囘

顧

柳生、野世溪、林

の三氏本社來訪



家國

〇國民精神作與週間

賽成所、工場町の兒童たち、工場に見る勞資 復活動の一班を扱つたもの――東京機械工 **觀に遊進すべき重任を負つた我等國民の銃** 作典週間、残敵の姦動を排して新東軍の建 時恰も武漢の攻略成るの時迎へる國民精神 體風景、大阪町會の活動

〇海の彼 〇讀者のカメラ 〇廣東漢口攻略戰 方

蕒 * 定價十錢



(2)(达)(清

社機械部

八时、

大阪明星美容宝原成市長谷川町ホテル前京城に来

ク

(名) 三八十番地

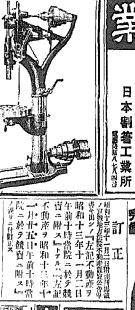
量学智士 本笠 茂

8x5912



病諸森を下す | 金和土飯 第5日土 版 (10.15) (11.15) ♣れ二七南電・三七九阪替振 タイピスト募集 海外県の第一行自 高等を開発を対策がありたし面合 が開発を対策がありたし面合 を選挙ががありたし面合 を対策がありたし面合 を対策がありたし面合 女店員採用 女店員採用 (東海市) 丁重 (東南市) 丁重 (東南市) 丁重 (東南市) 中華地の第一年(東南市)

明治生命京城支店京城支店



曾 0

(新品)

+

医学尊士 渡遍 晋 電本 894

皮膚性病科 淡尿性病科

泉名の効料置滑 國樂の適快易安 龍井神

精頻を求める即方は、「然後、大阪・一般のは、大阪・一般のは、大阪・一般のは、大阪・一般のは、大阪・一般のは、大阪・一般ので、大阪・一般ので、大阪・一般ので、大阪・一般ので、大阪・一般ので、大阪・一般の でいんしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしんしん はんしん はんしょく はんしんしん はんしんしんしん はんしんしん はんしんしんしん はんしんしん はんしんしん

要内閣辺ります。

會評品類酒鮮全

有望

賞入賞等優 賞入賞等優 宗正松若 國報櫻 报。

肥料株式會社

共産軍あの手この

邱 大

一個のなける。

會評品類酒鮮全

場造酒松若 場造酒居棟 即 誠 林 若

邟

時局下の三中井

○ 計算化に環境の機能と一七度丸・ 第三会五全第一・ 八全第十一・計六隻

止に國策的瓦斯燈

半島發明界の一

斯の確生装置に不満に続いる るが一番大切なアセチレノ瓦

小松氏の苦心成る

無いは頭は如うから、南西所有の独和は 一大蔵丸 第二人等人人等人人等人

六人第七人第八人第九 金比羅丸

寳庫日本海に雄飛

子本回の最

愛洋丸 北湖丸

實現化いまや目睫に迫る 州尹抱懐の各種計畫も



5名え、こから名峨金「力を注き職光鑑賞の樹菊、クウー」へと各種路販し、5は全年島人士に選挙」いても職業都市先山の紹介兵職に 織へ、北は清津、八、起の韓國を構造部「行戦の中心地である、府常師に非「東は日本海を構い、起の韓國を振道部「不戦の中心地である。所常師に非「東は日本海を構い門所一の保蔵地とし」スキー場あり四半で選じて元山は「の優が祈に番上は四円第一の保蔵地とし」スキー場あり四半で選じて元山は「の優が祈に番上は四円第一の保蔵地とし

産佐々木王國

の埠頭(中)元山の魚市場 宮眞説明(上)元山港

左黨の寵愛を一身に

醸造事業にも遊進

殊に『日滿』は大好評





瞽價 分や燦然たり



△價格が低離なる



と全く健疾品に見られな

伐琛、襲禄、加工、啟儒工句.

これが販賣を一手に収扱る 八村商店の商勢隆

九州郵船出帆廣告

には半島民間の脊髓層に確せられ、移管性の重要精子を占め、今や外 最重要制力なる水産工業部長の

阪路ます(

一場全省に、元山を中心として、一場全省に、元山を中心として、東西に元山府都是通四丁目に

ところで、 難ど内地一、流消に城色なしと指揮する騒が高い、 特成工佐々木地三郎氏

施設、技術共に他を凌駕

一偉觀

三玉鐵工所の全貌

都元山の

れる佐々木野三郎氏を貴主に木岡店は斯県様に見る英林と

不材界の覇者

元山商工會議所 元山穀物商組合

元山精米業組合

社會式株產畜山元

成南倉間電氣珠會社

